

概要						
施設名	長和町和田宿温泉ふれあいの湯					
施設概要	・温泉施設 鉄骨平屋造 834.94㎡(食堂含む) 浴室、休憩室、事務室 ・付帯施設 温泉井、食堂					
利用料金	入館料 1回券 大人500円 小人300円 (回数券他 11回券、年間券、半年券、3か月券) ※R4.9月まで 入館料 1回券 大人600円 小人300円 (回数券他 11回券、年間券、半年券、3か月券) ※R4.10月から					
指定管理者	株式会社 長和町振興公社					
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日					
町所管部署	産業振興課 商工観光係					
指定管理業務	・管理施設の使用許可に関する業務 ・管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務					
利用実績	利用区分等	令和4年度	令和3年度	前年比		
	売上収入(小売、入館料、食堂、受取賃料)	34,706千円	26,948千円	128.79%		
	入込	53,725人	57,047人	94.18%		
収支状況 (単位:千円)						
収入	指定管理者			町		
	項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
	売上収入	34,706	26,948	地方創生臨時交付金	4,704	
	指定管理料	16,500	15,000			
	雑入	6,339	5,639			
	計	57,545	47,587		4,704	
支出	人件費	6,437	15,737	指定管理料	16,500	15,000
	事業費	9,441	5,951	新型コロナ対策	3,000	
	光熱水費	16,781	13,801	エネルギー高騰対策	1,800	
	その他管理費	26,892	15,823			
	計	59,551	51,312		21,300	15,000
収支		△ 2,006	△ 3,725	収支	△ 16,596	△ 15,000

所管部署による評価		
項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	施設の人員配置や危機管理等への対応、資質向上への取組み等は適切か。	B
利用の状況	施設の提供等の協定で定めるサービスが実施できているか。	B
事業実施の状況	協定等で定める事業実施ができていないか。	B
利用者満足度の調査	利用者アンケートを実施して、利用者の要望等を把握しているか。	B
維持管理の状況	清掃、保守等が適切に実施されているか。	B
収支状況	収支計画に沿った運営が行われているか。経費の縮減等は適切か。	D
評価コメント	新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格高騰で、かなり厳しい運営をお願いしているなか、協定書等に基づき適切な管理運営が行われている。施設内の維持管理も行き届いている。今後も引き続き利用者に愛される施設の運営を心掛けていただきたい。	
<small>A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。 C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。</small>		
利用者アンケート		
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からのアンケートは毎回高評価を得ています。 <p>但し、施設とすれば建築以来35年を経過し、施設に対する不満の声は出て来ています。</p> <p>しかしながら、古い設備は逆に歓迎されている傾向も見受けられ、施設は修理・修繕で対応している。(湯治場的雰囲気が歓迎されている)</p> <p>ビジターお客様が、徐々に戻りつつある。カスタマーのお客様は人口の減少に伴い減っている。</p>	
意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> 注意書きが多く、余り歓迎されていない。一方ではマナーを守れないお客様が散見されるので、注意書きも止むを得ない事と判断している。 	
指定管理者による自己評価		
主な取組み	「魅力ある」温泉施設を目指して取り組んでいる。まずは清潔な館内を常に心がけている。更に笑顔の対応を心がけ、お客様にはいい温泉という評価を頂いている。特に夏のお盆を中心とした最盛期には、冷たい麦茶の無料サービスを実施した所、大好評で有った。県外のお客様が戻りつつある中、お客様アンケートでは、全項目回答数118の中65%がとても満足、満足が25%、合わせて86%が満足の回答となっています。	
管理運営上の課題等	設備の老朽化に伴い、周辺人口の減少が続く中、厳しい経営環境と言わざるを得ない。特にカスタマーと言われる会員客の減少は令和2年117名に対し現在令和5年度78名と39名のお客様が来館されなくなっている。これは1か月延975名の来館者の減少となっている。しかしながら、令和4年10月に大人料金を600円に値上げした所、現金客の昨年比入館者は131%、売上は114%の増収となっている。(券売機の前年対比) 課題と期待度がまだら模様となっている。設備投資が厳しい中、資源有限創意無限を意識しながら経営に取り組んで行きたい。	
その他		